

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 子育て環境の充実

基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **保育園維持管理経費**

[0147]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成 - 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市立保育所</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>保育所が安全衛生的に維持管理される。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市立保育所の施設の維持 管理に要する経費</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市立保育所数 (公設民営を除く)	箇所	5	5	5	5
対象指標2						
活動指標1	維持 管理経費	千円	34,406	33,546	36,114	32,466
活動指標2	開園日数	日	294	293	293	294
成果指標1	運営上支障が出た日数	日	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	34,406	33,546	36,115	32,466
正職員人件費 (B)		千円	2,507	2,489	2,418	2,444
総事業費 (A) + (B)		千円	36,913	36,035	38,533	34,910

費用内訳	
22年度	<p>需用費 13,260千円、役務費 169千円、委託料 21,932千円、使用料及び賃借料 44千円、原材料費 159千円、備品購入費 550千円</p>

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	保育所の維持管理のため実施しているが、建築後30年を経過しているため年々、施設修繕費等の経費が増加してきている。
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

児童福祉法に基づき設置している保育所の機能保全のための事業であり、義務的な事務事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

子育て環境の充実を図るため未就学期児童への支援として設置している保育所施設の安心して安全な施設保全に係る事業であり、基礎的な事務事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

経年劣化による老朽化が顕著な施設において、その保全と維持管理について細心の留意を図りながら対応しており概ね成果がでている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

市立保育所については、建物の耐用年数が経過したもののばかりで、経年劣化による老朽化が顕著な状況において、「江別市保育園の整備と運営に関する計画」に基づき体制を整備していくことにより成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

経年劣化による老朽化が顕著な施設において、その保全と維持管理を適切に実施する上ではコスト削減の余地はない。